

ご来院の皆様へ

2020 年 12 月 1 日
精神神経科

現在、精神神経科では、千葉大学大学院医学研究院精神医学では、「クロザピン(商品名:クロザリル)治療における採血・通院間隔に関する当事者・家族の意識調査」を行っています。今後の治療の対策に役立てることを目的に、当院の受診者及びその同伴者を対象としたアンケート調査をお願いしております。

1. 研究課題名 「クロザピン治療における採血・通院間隔に関する当事者・家族の意識調査」

2. 研究の意義・目的

クロザピンは治療抵抗性統合失調症に対する有効性が認められている唯一の薬です。しかし、白血球減少や心筋炎、高血糖といった重篤な副作用が出現するおそれがあるため、定期的な血液検査が義務づけられています。本調査は、クロザピン治療に関する患者さんにご家族のお考えを明らかにする目的で実施し、今後のクロザピン治療のあり方を検討することに役立つと考えております。

実施期間:2020 年倫理審査委員会承認後～2021年 3 月末

3. 研究の方法

アンケート調査用紙にて、クロザピン治療での通院・採血の間隔に関するお考えや、年齢、性別、現在の状況などをお尋ねし、それらの関係を明らかにします。

調査のご協力をお願いするのは、20 歳以上の方で、クロザピン(商品名:クロザリル)による治療を受けている患者さん、または同伴のために当院に来院された方です。

ご協力いただける場合、アンケート用紙(2～3 ページ)にご記入のうえ、精神神経科外来受付担当者にお渡しください。回答所要時間は 5 分くらいです。ご回答をもって、研究参加にご同意いただいたものとします。謝礼などの報酬はございません。ご協力いただけない場合は、アンケート用紙を提出せず、捨ててください。そのことにより当院での診療で不利益を受けることは一切ありません。

4. 倫理的配慮と個人情報の取り扱いについて

本研究は千葉大学大学院医学研究院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。アンケート内容には個人が同定できるような質問はありません。どなたにご協力いただいたかを我々が知ることはなく、研究成果の発表の際にもご協力いただいた方の氏名などは一切公表されません。データは共同研究機関である獨協医科大学病院精神神経科に提供し、解析されます。データ等は、千葉大学大学院医学研究院精神医学研究室で適切に保管します。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、本揭示をしています。

研究実施機関(研究代表者): 千葉大学大学院医学研究院精神医学 (講師 新津富央)

研究参加施設:獨協医科大学、国立精神神経医療研究センター、東京女子医科大学、東京大学医学部附属病院、栃木県立岡本台病院、大阪医科大学、国立肥前精神医療センター

お問い合わせ先: 千葉大学大学院医学研究院精神医学 (担当:新津富央)

電話: 043(222)7171 (代表)